

# 令和4年度 行政評価調書

## ■ 施策の概要

(第7次総合計画 基本計画 P.98～99)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ3 強味を生かした産業振興によるにぎわいのまち(産業振興)		
施策名	3-3 商業		
所管部	産業港湾部	関係部	なし
この施策の 目指すべき姿と その展開方向	<p>(第7次総合計画 基本構想 P.38)</p> <p>消費者ニーズの多様化や購買環境が大きく変化を続けていく中で、消費者にとって価値ある小売業の振興を図るとともに、流通構造の変化に対応した卸売業の機能及び経営基盤の強化を進め、地域とともに発展する活力ある商業を目指します。</p> <p>このため、商品・サービスの提供に加え、地域に根ざしたコミュニティの場としての魅力づくりや、買い物の利便性、地域貢献活動など、それぞれが持つ機能と役割を発揮し、世代ごとの消費者ニーズを捉えた商業環境づくりに対する支援、商品の安定供給、地域需要に関する情報提供や掘り起こしなど流通機能の効率化に対する支援に努めるとともに、小樽市中小企業振興基本条例の理念に基づき事業者の人材育成や経営基盤の強化を図ります。</p> <p>また、地域に密着した商店街や市場等の後継者不足については、創業・起業支援や空き店舗の活用などの支援に努めるとともに、関係機関と連携し事業承継を促進します。</p>		
市民アンケート 指標	買い物環境が充実していると感じている市民の割合	基準値	目標値
		44.6%	基準値より増

## ■ 施策の内容(小施策)

(第7次総合計画 基本計画 P.98～99)

小施策 及び 指標	(1) 創業の促進及び経営の安定化		基準値	目標値
	指標	商人塾参加人数	70人	70人
	(2) 買い物環境の魅力向上		基準値	目標値
	指標	小売業の年間商品販売額	1,298億円	1,298億円
		飲食店売上高	133億円	150億円
	(3) 流通構造の変化に対応した卸売機能の強化		基準値	目標値
	指標	卸売業の年間商品販売額	1,305億円	1,305億円
	(4) 商店街・市場の振興		基準値	目標値
	指標	中心7商店街の空き店舗率	14.0%	10.0%

# 令和4年度 行政評価調書

## ■施策の評価(一次評価)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ3 強味を生かした産業振興によるにぎわいのまち(産業振興)					
施策名	3-3 商業					
所管部	産業港湾部	関係部	なし			
市民アンケート 指標	買い物環境が充実していると感じている市民の割合	基準値	令和3年度	令和5年度	目標値	
		44.6%	50.6%		基準値より増	
市民アンケート 指標の推移	◎	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)				
各小施策の 指標の推移	指標		基準値	実績値	推移	目標値
	(1)	商人塾参加人数	70人	10人	△	70人
	(2)	小売業の年間商品販売額	1,298億円	-	-	1,298億円
		飲食店売上高	133億円	-	-	150億円
	(3)	卸売業の年間商品販売額	1,305億円	-	-	1,305億円
(4)	中心7商店街の空き店舗率	14.0%	19.9%	△	10.0%	
指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)						
【一次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	C-1	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う			
総評及び今後 の具体的方針 ほか特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物環境が充実していると感じている市民の割合は基準値を上回っており、キャッシュレス決済の普及や、人口減少が続く状況においても、にぎわい創出等に継続的に取り組んでいることが市民の評価に繋がっていると考えられる。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化しており、小施策(4)の空き店舗率は前年度よりさらに悪化した。</li> <li>・小施策(1)の創業支援セミナー「商人塾」は、令和3年度において1回のみで開催となったことと集会形式を敬遠したことなどにより、参加者が大幅に減った。</li> <li>・国や北海道と連携し、支援金の支給や消費喚起策などの緊急経済対策を講じることにより、廃業を抑制するほか、令和4年度から拡充した空き店舗対策や、3-4工業・企業立地の取組と連動した商談会への出品・出展支援、新商品開発支援の取組を継続し、商業環境の改善に努めてまいりたい。</li> <li>・人口減少・少子化・高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少していることから、実績がとれていない(2)小売業の年間商品販売額、飲食店売上高、(3)卸売業の年間商品販売額についても、厳しい状況となっていると推測される。</li> </ul>					

## ■有識者会議による点検 ( 対象 非対象 )

点検結果	
------	--

## ■施策の評価(二次評価)

【二次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	C-1	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う
上記特記事項	<p>○各指標の推移等は、一次評価のとおりと考える。</p> <p>○所管部意見のとおり、国や北海道と連携した経済対策による廃業抑制のほか、空き店舗対策や、施策3-4「工業・企業立地」と連動した創業支援や事業承継などの取組を継続すること。</p> <p>○小施策(4)の中心7商店街の空き店舗率については、指標悪化が著しいことから、令和4年度に拡充した空き店舗対策事業の効果を見極めながら、商店街別・業種別の状況分析を進めるなどして、指標改善に向けた方策を検討すること。</p> <p>○施策4-5「市街地整備」における中心市街地の整備の取組との連携を図りながら、中心市街地のにぎわいづくりを推し進めること。また、中心市街地の歩行者通行量調査については、より実態に即して効率的に実施できるように、実施箇所や手法等の見直しを検討すること。</p>		

# 令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

## (1)創業の促進及び経営の安定化

(第7次総合計画 基本計画 P.98～99)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
		商人塾参加人数		平成30年		70人	70人
指標推移	△	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)	年度ごとの実績値				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			55人	35人	10人		
指標推移			指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)				
主な取組	<p>★商業起業者の育成及び経営安定化のため、財務・会計や販売・マーケティングなどの知識習得及び向上を支援(産業港湾部商業労政課、産業港湾部産業振興課)</p> <p>○後継者不在の課題を抱える商業者に対する関係機関と連携した相談体制などによる事業承継に向けた支援(産業港湾部商業労政課、産業港湾部産業振興課)</p>						
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当		
	④ 目的と概要						
	⑤ 事業等実施状況						
	1	① 創業支援セミナー「商人塾」(4244)		② 341 千円		③ 産業港湾部商業労政課	
		④ 創業希望者を対象に、財務・会計や販売・マーケティングなどの知識習得及び向上を支援するためのセミナーを開催した。(1回)					
		⑤ 参加人数 令和元年度55人、令和2年度35人、令和3年度10人(1回のみ開催)					
	2	① 商業起業者育成及び経営安定化の支援		② - 千円		③ 産業港湾部産業振興課	
		④ 補助要件を満たした新規創業者に対して、事務所等の賃借料や内外装工事にかかる費用等を補助することにより、創業当初の負担を緩和し、経営を安定させる(創業支援事業(02480)の一部として実施)。					
		⑤ 補助金利用者数 平成30年度4人、令和元年度4人、令和2年度6人、令和3年度1人					
	3	① 商業者の事業承継に向けた支援		② - 千円		③ 産業港湾部産業振興課	
		④ 事業の引継ぎが完了するまでには5年から10年かかると言われているため、早急な対応が求められていることから、関係機関と連携し、事業承継に向けた支援を行う(事業承継支援事業(04037)の一部として実施)。					
		⑤ 事業所を訪問しヒアリングを実施(令和3年度9件)					
	4	①		② 千円		③	
		④					
		⑤					
5	①		② 千円		③		
	④						
	⑤						
6	①		② 千円		③		
	④						
	⑤						
指標推移の要因等	・創業支援セミナー「商人塾」について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で集会形式の講座が敬遠されたことと、国の事業と連携し年2回実施していたが、令和3年度は市単独事業となり1回の実施となったため受講者数は大きく減少した。						
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> ・令和4年度以降は年2回実施するよう予算化し、周知を強化して受講者数増を図る。						
指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>						
	1	1:各事業をこのまま継続して推進する 2:予算事業等を改善しながら推進する 3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う ・受講者の裾野を広げるため、創業支援セミナーの周知方法や講座運営の改善を検討する。 ・事業承継に必要な情報提供に努める。					

# 令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

## (2) 買い物環境の魅力向上

(第7次総合計画 基本計画 P.99)

指標1	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
	小売業の年間商品販売額		平成27年		1,298億円	1,298億円	
年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		-	-	-			
指標1推移	-	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)				
指標2	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
	飲食店売上高		平成27年		133億円	150億円	
年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		-	-	-			
指標2推移	-	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)				
主な取組	<p>★キャッシュレス化や多言語化対応の推進など、多様な消費者ニーズに応える快適な買い物環境の整備(産業港湾部商業労政課)</p> <p>○地域の魅力ある商品の販売を支援(産業港湾部商業労政課)</p>						
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当		
	④ 目的と概要						
	⑤ 事業等実施状況						
	1	① キャッシュレス決済に関する情報提供		② 予算なし 千円		③ 産業港湾部商業労政課	
		④ キャッシュレス決済導入に向け、決済事業者より得たキャンペーン情報等を商店街団体に提供					
		⑤ 市内では、既にキャッシュレス決済の情報は持っている状況にあることから、感染防止対策に有効と思われる非接触型キャッシュレス決済事業者(2社)より得たキャンペーン情報等を商店街団体に提供した。					
	2	① 多言語化対応の推進		② 予算なし 千円		③ 産業港湾部商業労政課	
		④ 多言語化対応を推進するため、商店街等における現状を情報収集					
		⑤ 商店街から、新型コロナウイルス感染症の影響により訪日観光客が激減しているが、多言語化は重要と考え、スマートフォンでの翻訳機能を活用するほか、多言語化に向けた対応を今後も検討していくという意見を得た。					
	3	① 地域の魅力ある商品の販売支援に関する取組		② - 千円		③ 産業港湾部商業労政課	
④ 小樽物産協会のインターネット販売サイト「小樽家族」の継続的な更新							
⑤ 地域の魅力ある商品を市内外に販売するため、サイトの更新に関する助言を実施した。							
4	① 市民の消費喚起に関する取組		② 226,327 千円		③ 産業港湾部商業労政課		
	④ 新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響を緩和し、幅広く市民の消費を喚起することを目的として、プレミアム付商品券を販売した。(おたるプレミアム商品券事業費(4195)により実施)						
	⑤ 取扱店数: 1,171店舗、換金実績(使用実績): 777,505千円						
指標推移の要因等	<p>・指標の実績値はないが、新型コロナウイルスの感染拡大により、売上は減少しているものと見込まれる。</p> <p>・小樽商工会議所の小樽市経済動向調査によると、小売業の売上高DI(2021.10~12)は▲14.3であり、厳しい環境が続いている。</p> <p>・ただし、商品券事業等の影響もあり、前年同期と比較すると5.7ポイント上昇しており、改善傾向がみられる。</p>						
令和4年度の取組状況	<p>&lt;指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等&gt;</p> <p>・コロナ禍で落ち込む消費を喚起するため、プレミアム付商品券事業を実施する。</p>						
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>						
	1	<p>1: 各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2: 予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3: 予算事業等の内容の全面的な見直しを行う</p> <p>・キャッシュレス決済対応店舗の増加などの状況により、施策の目的である「買い物環境が充実していると感じている市民の割合」は基準値を上回っている。</p> <p>・引き続き非接触型のキャッシュレス決済に関する情報提供を行うとともに、コロナ禍において、訪日観光客に安心して買い物を楽しんでもらえるよう情報発信の強化に努める。</p>					

# 令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

## (3)流通構造の変化に対応した卸売機能の強化

(第7次総合計画 基本計画 P.99)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	卸売業の年間商品販売額		平成27年		1,305億円	1,305億円		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
指標推移	-	◎ :指標の推移は順調 △ :指標の推移は順調でない - :判定不能(実績値なし)	-	-	-	-	-	
主な取組	<p>★販路の開拓による新たな市場創出と、求められる商品の調達及び販売機能の強化を支援(産業港湾部商業労政課)</p> <p>○商品の開発や生産に役立つ情報、求められる商品や新たな商品の情報を提供する機能の強化を支援(産業港湾部商業労政課)</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 新たな販路開拓及び販売機能強化等の支援		② - 千円		③ 産業港湾部商業労政課		
		④ 市内食料品関係事業者の課題である、新たな取引先との接点創出などを支援し、事業者の稼ぐ力の向上と外貨獲得を目指すもの。稼ぐ力向上実践事業の一部として実施。						
		⑤ 新たな販路開拓(商談・取組件数:22件)、販路拡大した市場等での販売支援(商談・取組件数:22件、売上金額234,490千円)						
	2	① 商品開発等の支援		② - 千円		③ 産業港湾部商業労政課		
		④ 市内食料品関係事業者の課題である、人材育成や新技術・商品開発などを支援し、事業者の稼ぐ力の向上と外貨獲得を目指すもの。稼ぐ力向上実践事業の一部として実施。						
		⑤ 商品の磨上げなどの個別相談(7社参加)						
	3	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	4	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	5	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	6	①		② 千円		③		
		④						
		⑤						
	指標推移の要因等	小樽市経済動向調査【小樽商工会議所】によると、全業種における売上DIは今期(2021.10-12)▲3.6で、前年同期と比べて44.0ポイントと大幅に上昇したが、仕入価格の高騰や収束しない新型コロナウイルス感染症による経済の停滞が懸念される。						
	令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> 3-4工業・企業立地の取組と連動して、令和3年度に終了した稼ぐ力向上実践事業に代わり、令和4年度からは小樽産品販路拡大強化支援事業により事業者の商談会への出品・出展や新商品開発など小樽産品の販路維持・拡大に取り組んでいる。						
	指標推移への対応方針(令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>						
1		<p>1:各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2:予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う</p> <p>・令和4年度から実施している小樽産品販路拡大強化支援事業において、百貨店の事業環境の変化、人口減少など市場規模の縮小や新型コロナウイルス感染症に起因した消費者の行動変容に対応していきたい。</p>						

# 令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

## (4)商店街・市場の振興

(第7次総合計画 基本計画 P.99)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値	
	中心7商店街の空き店舗率		平成30年		14.0%	10.0%	
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			16.8%	16.4%	19.9%		
指標推移	△	◎ :指標の推移は順調 △ :指標の推移は順調でない - :判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)				
主な取組	<p>★商店街や市場におけるにぎわい・ふれあいや回遊性を高める魅力づくりへの支援(産業港湾部商業労政課)</p> <p>○空き店舗を活用した商業店舗の開設に対する支援(産業港湾部商業労政課、産業港湾部産業振興課)</p> <p>○アドバイザー派遣による魅力ある個店や商店街・市場づくりの推進(産業港湾部商業労政課)</p> <p>○商店街の組織運営強化に対する支援(産業港湾部商業労政課)</p>						
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当		
	④ 目的と概要						
	⑤ 事業等実施状況						
	1	① にぎわう商店街づくり支援事業(844)		② 2,294 千円		③ 産業港湾部商業労政課	
		④ 小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街がにぎわいを創出し、魅力を向上させる事業のうち、新規事業又は既存の事業内容を拡大若しくは発展させる事業を行ったときに助成対象経費の一部を助成。					
		⑤ 助成件数 令和元年度6件、令和2年度4件、令和3年度4件					
	2	① 商店街活性化支援事業(845)		② 1,700 千円		③ 産業港湾部商業労政課	
		④ 活力ある商店街の形成を図るため、イベントや情報発信事業の実施またはアドバイザーを派遣する商店街団体に対し、助成対象経費の一部を助成。					
		⑤ 助成件数 令和元年度16件、令和2年度7件、令和3年度13件					
	3	① 空き店舗対策事業(846)		② 400 千円		③ 産業港湾部商業労政課	
④ 小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街等において、空き店舗を活用して、中小企業者が卸売・小売業、飲食業、サービス業などの店舗の開設又は増設する場合に、賃借店舗の家賃の一部を助成。							
⑤ 助成件数 令和元年度1件、令和2年度2件、令和3年度2件							
4	① 空き店舗における創業支援の取組		② - 千円		③ 産業港湾部産業振興課		
	④ 補助要件を満たした新規創業者に対して、事務所等の賃借料や内外装工事にかかる費用等を補助することにより、創業当初の負担を緩和し、商店街の空き店舗を解消を図る(創業支援事業(02480)の一部として実施)。						
	⑤ 補助金利用者数(商店街等店舗) 平成30年度4人、令和元年度4人、令和2年度6人、令和3年度1人						
5	① 商店街振興組合連合会補助金(874)		② 2,300 千円		③ 産業港湾部商業労政課		
	④ 小樽市商店街振興組合連合会は、市内商店街の連合体として商店街の近代化や個店の経営の合理化に資する各種事業を展開しているため、人件費を除く事業費及び事務費の一部を補助し、事業を支援。						
	⑤ 助成対象 小樽市商店街振興組合連合会 令和元年度 2,300千円、令和2年度 2,300千円、令和3年度 2,300千円 実施内容 研修事業の開催、関係団体等の情報の伝達・周知、オールおたる年末年始大売出しなど						
6	①		② 千円		③		
	④						
	⑤						
指標推移の要因等	・人口減少・少子化・高齢化による来店客数や売上減少が続いているほか、コロナ禍の長期化により、さらに商業環境が悪化しているため、それにより廃業が発生し、空き店舗率が増加する結果となった。						
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> ・空き店舗対策事業を拡充し、対象商店街、市場への移転又は店舗開設は内外装工事助成を新設、市外事業者も対象とし強化を図る。						
指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>						
	1	<p>1:各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2:予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う</p> <p>・商店街団体は、にぎわい創出による活性化を目指しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から思うような取組を実施できていない。</p> <p>・感染防止対策を徹底したうえで、来街者を増やすための助言等を行っていく。</p>					